

平成22年9月13日
近畿日本鉄道株式会社

川原町駅周辺総合整備事業に伴う近鉄名古屋線上下線の仮線切替について

交通渋滞の解消及び一体的なまちづくりの推進と治水安全の向上等を目的とした、川原町駅周辺総合整備事業の工事が進捗し、下記のとおり9月18日より近鉄名古屋線上下線を仮線に切り替えることとなりましたのでお知らせします。

1. 要旨

三重県と近畿日本鉄道(株)では川原町駅周辺総合整備事業として、現在、鉄道高架による渋滞解消や一体的なまちづくりの推進に併せて、三滝川河川改修及び国道477号道路改良に取り組んでいますが、この度、近鉄名古屋線の仮線工事が進み、本線高架橋工事着手にむけての第一段階として、上下線(名古屋方面行き)を仮線に切り替えることとなりました。

切替延長 約980m

切替箇所 四日市市本郷町～西浦二丁目

2. 切替日時(予定)

上下線仮線運転開始：平成22年9月18日(土)始発列車から

3. 備考

事業区間内にある川原町駅については、平成21年5月に仮駅舎に切り替え済みであり、今回、上下(名古屋方面行き)ホームは変更となりますが、改札口・下り(四日市方面行き)ホーム等の変更はありません。

(参考)

川原町駅周辺総合整備事業は、川原町駅付近連続立体交差事業、三滝川河川改修事業及び一般国道477号西浦バイパス道路改良事業を合わせて実施するものであり、平成19年度に事業着手しました。

この事業の目的は、5箇所の踏切の除去により、踏切渋滞や地域の分断を解消するとともに、近鉄三滝川橋梁の架け替えにより、三滝川河川改修事業における最大の河積阻害区間を解消し治水安全の向上を図るものです。

以上